

■ SMT<しづ・まち・探検>の開催（青少年育成志津地区民会議・わんぱく協働高校）

1 【活動の趣旨】

地域の子どもたちが自ら地域の資源（宝物）を活用し、様々な活動を企画し体験することで地域への愛着心を育みながら次世代のリーダーを育成するとともに、体験した内容を地域内外に発信をおこなうことで、大人にも褒めてもらえる機会をつくる。

2 【特徴的な活動内容】

○「SMT（しづ・まち・探検）宿泊体験」

「地域の宝もの」を題材に活動を行うもので、今年度は小槻神社において宿泊体験活動を実施。「ゼロになろう！」というテーマをもとに、環境学習の要素も取り入れ、地域資源の竹を使った竹灯籠の製作や残渣を出さない夕食のカレー作りなどを行った。

また、中学生スタッフが地域のポイ捨て問題に着目し、地域を歩いてポイ捨ての状況を写真に撮ってまわり、その状況を小学生スタッフにも共有し、ポイ捨て防止啓発看板のデザインを作品として仕上げた。

○ポイ捨て防止啓発看板の製作

ごみ問題を考える草津市民会議の協力を得て、看板製作され、市長あてに完成報告をおこなった。できた看板は宿泊体験の時にチェックした場所に設置予定。

○草津市こども環境会議で発表

今年度の活動で楽しかったこと、苦労したことなどをまとめ、壁新聞にしてこども環境会議で展示。来場者に対して、自分たちの活動を写真などを用いてわかりやすく説明し、質問などにも的確に答えることができた。



【宿泊体験活動】



【啓発看板完成報告】



【草津市こども環境会議】

3 【実施に当たっての工夫】

2年連続となる宿泊体験だったが、夏場の時期をずらすなどで暑さ対策をはじめとする安全管理を徹底した。

ゼロミッションをテーマにしたが、子どもたちが単にプログラムをこなすだけでなく、意味もしっかり考えてもらえるよう、役割分担と進め方を工夫した。

4 【事業の成果】

5月に実施した子どもリーダーの企画会議で、要望の多かった宿泊体験を今年も実施することになったが、募集定員を上回る応募となり活動が認知されてきている。参加している子どもの親も長時間にわたり、楽しみながら運営のお手伝いをいただいた。

環境問題に対する学習を通して、成果物までの一連の流れで経験できたことが参加者の大きな成長につながったと思う。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

今後は学校や地域だけでなく、保護者も積極的に参加してもらえる企画をし、子どもたちの活動を知ってもらい、一緒になって子どもの成長を見守ってもらいたい。